

科目名	美術Ⅲ		学年	普通科				必/選	単位数
			3	アドバンス		キャリア	スポーツ	選択	2
				国文	理進				
学 習 目 標	創造的な活動を通して、造形的な見方・考え方を養い、生涯にわたって美術文化を愛好する心情を育成することを目指す。								
使 用 教 材	教科書：教科書：「高校生の美術 3」（日本文教出版） 副教材：								
評 価	評価法	提出作品、アイデアをまとめるためのプリント、出席状況、授業態度をもとに評価する。							
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	意図に応じて、材料や用具の特性を生かしている。表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。					
		b	思考・判断・表現	表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。					
		c	主体的に学習に取り組む態度	主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。					
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。									
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法				
					a	b	c		
1	4 5 6 7	1  25	○オリエンテーション ○お座り人形を作ろう	・木材を加工し、卓上に飾る人形を作成する。	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	授 業 態 度 ・ プ リ ン ト		
2	9 10 11 12	28	○平面構成「音楽」	・音楽を色彩で表現する。 ・選んだ曲の持つ歌詞や演奏のイメージを構成する。	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	授 業 態 度 ・ プ リ ン ト		
3	1	16	○アートバイキング	・いくつかの課題の中から、選択した表現に取り組む。	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	プ リ ン ト ・ 提 出 作 品	授 業 態 度 ・ プ リ ン ト		
担当者からのメッセージ（学習方法など）									
表現に取り組む際は、失敗を恐れずに挑戦し続けることが大切です。新しいアイデアや視点を積極的に取り入れ、自分の成長を楽しんでください。									

科目名	書道Ⅲ	学年	普通科			必/選	単位数	
		3	アドバンス		キャリア	スポーツ	選	2
			国文	理進				
					○			
学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方、考え方を働かせ生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。							
使用教材	教科書：『書道Ⅲ』（東京書籍）							
評価	評価法	提出作品、学習のまとめ（ワークシート・作品解説・振り返りシート）の内容、用具・用材の扱いや主体的に学習に取り組む態度も含めて総合的に評価します。						
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付け、表している。				
		b	思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法			
					a	b	c	
1	4	8	漢字の書 様々な書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書） 【鑑賞】	教科書（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）に掲載されている古典を鑑賞し、特徴を捉える。 臨書を通して、各古典の用筆法・運筆法や表現の特徴を理解し、自分の意図や感動を表現できる技法を習得する。  自らの興味関心に基づき、学習する古典を選択する。 選択した古典の書風や、用筆法・運筆法の特徴を把握する。  多角的に古典を分析し、その書風や特徴を生かした創造的な表現を工夫する。	提出作品	提出作品	行動観察 課題進度	
	5 6	10	【臨書】【鑑賞】					
	7	8	自分の好きな書体 【臨書】 【創作】					
2	9 10	14	卒業制作 【創作】	自らの思いや感動を表現する語句と書表現との関係について考える。 創作の手順や方法を理解し、主体的に語句の選定や用具・用材の選択や構成を考える 漢字と仮名の学習の調和を図り現代にふさわしい書作品をつくる。	提出作品	提出作品	行動観察 課題進度	
	11 12	14	漢字の書 （四字熟語） 漢字かな交じり書 （名言を書く） （歌詞を書く）					
								ワークシート
3	1	16	卒業制作 【鑑賞】				振り返りシート	

担当者からのメッセージ（学習方法など）

目的や用途、表現形式に応じた作品制作について紹介します。単元ごとに評価ポイントを示しますので、ポイントを押さえた提出物を作成してください。毎時間、真面目な態度で取り組んでください。

科目名	音楽Ⅲ		学年	普通科			必/選	単位数	
			3年	アドバンス		キャリア	スポーツ	選択	2
				国文	理進				
				○					
学習目標	音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。								
使用教材	教科書：Joy of Music（教育芸術社）								
評価	評価法	学習プリント、振り返りシート、筆記課題（鑑賞レポート、確認筆記テスト）、パフォーマンス課題（実技、創作、プレゼンテーション）、グループ課題への取り組みの様子などで評価します。							
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性などについて理解を深めている。</li> <li>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</li> </ul>					
		b	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。					
		c	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。					
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。									
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法				
					a	b	c		
1	4	2	ソルフェージュ（常時活動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なリズムや音を視唱、聴音し、パターンを覚えるとともに、基本的な楽譜の書き方を学ぶ。</li> </ul>	課題	実技	学習プリント		
		4	生活と音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の周りにある音を調べ、サウンドマップを作る。</li> <li>・音楽が生活の中でどのような役割をしているか学ぶ。</li> </ul>	課題	課題	学習プリント		
	5	6	童謡の弾き歌いをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の持つ特性を感受しながら、音楽表現の技能を高める。</li> <li>・コードについて学ぶ。</li> <li>・やぎさんゆうびん、とんぼのめがねなど</li> </ul>	実技	実技	課題 進度 振り返り		
		8	鍵盤楽器でアンサンブルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤楽器の音色や表現の特色を味わう。</li> <li>・演奏の技能を身に付け高める。</li> <li>・個性豊かに演奏する。</li> </ul>	課題	実技	シート 行動		
	6	2	実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ技能を生かして演奏する。</li> </ul>	課題	実技	観察		
		7	2	鑑賞「展覧会の絵」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を絵画との関わりについて感じとる。</li> </ul>	実技	実技	振り返り	
							レポート	レポート 振り返り	

		1	筆記テスト	・1学期に学習したことを確認する。	テスト	テスト	シート	
2	9	6	オペラ、オペレッタ、ミュージカルを学ぼう。	オペラ、オペレッタ、ミュージカルの特徴の違いを理解し、歌い方の表現の幅を広げる。 劇音楽の特徴を感じ取り、総合芸術を学ぶ。	課題		学習 プリント	
		5	・鑑賞 「オペラ座の怪人」	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。	課題	レポート	レポート 行動 観察	
		5	・ミュージカルナンバーを歌おう	登場人物の心情や場面の状況を考え、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	実技	実技	学習 プリント	
	11	2	・実技テスト	学習したことを確認する。	実技	実技	振り返り シート	
		6	日本の楽器に親しもう。	三線の演奏を通じて日本の楽器に触れ、理解を深める。 三線の基本的な奏法を身に付ける。	課題	課題	学習プリ ント	
	12	2	・実技テスト	学習したことを確認する。	実技	実技	行動観 察	
		6	ファンファーレを作ろう。	ファンファーレの創作を通じて楽典の知識を深め、想像力をのばす。	課題	実技		
		1	筆記テスト	2学期に学習したことを確認する。	筆記テ スト	筆記 テ ス ト		
	3	1	10	アンサンブルをしよう	3年間のまとめとして、自分たちでアンサンブルする。	課題 筆記	実技 筆記	行動観 察
		2	2	3年間のまとめテスト	3年間で学習したことを確認する。	テスト	テスト	振り返り シート

担当者からのメッセージ（学習方法など）

- ・題材に対して毎時間真剣に全力で取り組みましょう。音楽は実技教科なので、各時間の積み重ねが大切です。
- ・合唱やアンサンブルではクラスで協力する姿勢を常に心がけましょう。クラスの和を乱すような行為（私語、怠学など）は、評価の対象となります。
- ・全ての活動に積極的に参加し、音楽を楽しみましょう！

※授業で取り上げる題材や内容は、進度や状況などにより、追加・変更する場合があります。